

人は人を浴びて人に溺る

～ふるさと形原を愛する形中生～



中3 西浦 パームビーチで海遊び



ビーチクリーン



サップ体験

9/14(水)・15(木)に、3年生が西浦パームビーチで海遊び体験をおこないました。本校の生徒の8割は蒲郡の海で泳いだ経験がありません。そんな生徒たちに蒲郡の海の魅力を知ってほしいと考え、オーシャンキッズ(代表:山村佳史)さんと蒲郡市に協力をいただき、実現しました。

昨年度から体育のプールの時間に、全校生徒がマリンスポーツ(サップ)を体験できるようにしました。本年度はそれをさらに広げ、場所は本物の海で、体験は生徒が選択できるように、サップだけでなく、ビーチアート・釣り・バーベキューなど海に親しめるものを加えました。

生徒たちは、朝8時半に貸し切りバスで学校を出発しました。台風が心配されましたが、両日も波は穏やかで、絶好の海遊び日和となりました。私の子どもの頃の西浦海水浴場は、水が緑色に濁り、あまりきれいではありませんでした。しかし、久しぶりに来てみると、パームビーチと名前だけがおしゃれになっただけでなく、水は青く透き通り、見違えるように美しい浜辺に変身していました。

最初にお世話になる砂浜のゴミ拾いをしました。美しい砂浜ですが、意外と缶やビンが落ちていました。その後、4つ



釣り体験

のグループに分かれて、体験活動をしました。

サップグループは、昨年のプールでの経験を生かして、どの子も勢いよく海に漕ぎだしていきました。しかし、波で思うように操作できず、次々と海に落ちていました。笑顔と笑い声を大空に響かせ、自然を大いに満喫していました。

釣りグループは、ゴカイなどの餌を釣り針に上手に刺せなかったり、釣り竿から垂らした針が岩場にひっかかったりして、苦勞していました。しかし、徐々に慣れ、小さなフグやカサゴを1人1匹以上は釣ることができたようでした。

ビーチアートグループは、青と白の樹脂を重ね、ドライヤーで温めながら風を当てると、美しい波打ち際の模様ができるという作品づくりに挑戦しました。そこに砂浜で拾った貝や小枝などを貼り付けると、まるで本物のビーチのように美しく仕上がり、みんな満足そうでした。



ビーチアート体験

藍染めグループは、ビー玉や輪ゴムを使い、手ぬぐいに模様をつくりました。藍染めは海に直接関係ありませんが、昔、形原温泉の山麓苑でもやっていた、地元になじみの深い染色技法です。講師が大変気さくな方で、生徒たちが楽しそうに話しかけているのが印象的でした。



活動を終えたグループからバーベキューを行いました。フランクフルトとベーコンと野菜という簡単な材料でしたが、持参のおにぎりをほおばりながら、みんなで和気藹々と楽しい時間を過ごすことができました。余った時間でビーチバレーをしたり、浮き輪やゴムボートを使って海と戯れたりして、生徒たちは大はしゃぎでした。このような素晴らしい機会を与えてくれたオーシャンキッズのスタッフのみなさん、市役所企画



藍染め体験



BBQ 体験

政策課・シティーセールス課のみなさんに感謝いたします。

この活動を通して、生徒たちが蒲郡の海に親しみをもち、ふるさとを愛する心を育んでくれることを願います。



海遊び体験



TV 取材



CBC テレビと東海テレビが取材に来てくれました。お昼と夕方のニュースで放映されました。

お世話になったオーシャンキッズのみなさん